

## 紀要の発行

当館では、美術館建設準備室時代の昭和58年度に第1号を刊行して以来、ほぼ毎年1回のペースで紀要を刊行し、本年度で第18号を数える。

美術館活動の基盤となる学芸員の研究成果をひろく公開し、館蔵品を中心とした美術作品の研究の進展に寄与することを目的とする。また、美術館の活動の一端を紹介する役割をも担う。対象は館蔵品を主とするが、各学芸員の研究意欲に従い、ひろく美術および美術館をとりまく諸問題を取り扱う。

成果品は、全国の研究機関、研究者へ配布した。

29.6 × 21.1cm 60ページ

平成15年3月31日発行



### 第18号内容

#### 口絵図版

ドメニキーノ《エルミニアと羊飼いのいる風景》

パリ、ルーブル美術館蔵

#### 論文

##### ・小針由紀隆

ドメニキーノとG.B.アグッキ

- 《エルミニアと羊飼いのいる風景》の風景描写をめぐる一考察

##### ・堀切正人

高田博厚の彫刻について

- 高村光太郎の批評をもとに -

##### ・李 美那

近代朝鮮半島と日本の美術関連年表

- 朝鮮から日本への主な留学生、主な美術団体の結成などを中心に

金秉駿(キム・ビョンギ)氏へのインタビュー